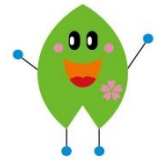


第13号

～夢と希望のわが母校～

【本校の教育目標】

- 元気な子
- 思いやる子
- 考える子



光春小だより

練馬区立光が丘春の風小学校 校長 福田 純子

春風ちゃん

H29. 2. 28

〒179-0072 練馬区光が丘7-2-1

Tel 3976-5861

Fax 5383-3592

感動の共有

校長 福田 純子

早いもので、今年度も、とうとう最後の月を迎えます。教室や体育館から流れてくる子供たちの澄んだ歌声や、5年生が中心になって準備を進めている卒業関連行事の様子から、進級や卒業を目前にした子供たちの心が、すうっと一つにまとまっていく様子が伝わってきます。

6年生の担任が持ってきた『卒業文集』の下書きを読ませてもらっています。そこには小学校生活の思い出や中学校生活への希望がみずみずしい文章で表現されていました。

一番多いのは、移動教室や運動会等のように友達と協力してやり遂げた行事の思い出についての記述です。また、自分なりに乗り越えた挫折や大切に思っている友情について等、これまでの成長を改めて振り返っている文章も見られます。

そのほとんどに共通して言えるのは、仲間や人との関わりの中で、感動を共有しながら成長してきた自分というものへの自覚です。

子供たちが行事を通して感動したり達成感を感じたりするのは、どういうわけなのでしょう。役割、責任、人間関係、準備、練習、集団行動…そういう困難があるにもかかわらず、子供たちの心には、行事の思い出が深く残り、それらを自分の達成感や未来への展望に結び付けて記述する事ができているのです。

つまり、感動を共有するためには、共に困難を乗り越える事が必須条件なのです。簡単に手に入るものや、たやすく成功するものに、人は深く感動することはありません。そして、一人でも多くの人とその感動を共有することが、自己存在の自信を強め、それらが積み重なって、将来自立して生きていくために必要な社会性を育てるのだと思います。

私の好きな詩人の一人に谷川俊太郎という方がいます。谷川さんは、『あなたはそこに』という詩の一節で「ほんとうに出会った者に別れはこない」という言葉を書きました。

「ほんとうに出会った者」というのは、人生の一時期を共に過ごす中で、強く、深く、「感動を共有」した者たちのことではないでしょうか。

まもなく6年生は中学校へと巣立って行きます。春風小にも新しい1年生が入学し、在校生たちも一つずつ進級します。中には、学級編制のある学年もあることでしょう。

しかし、これまでに友達や教師と共有してきた感動の思い出は永遠に残ります。特に、皆で笑った、頑張った、やり遂げた…そういう思い出が、別れを越えて子供たちの心の中に残り、次の困難に出会った時には、きっと子供たちの心の支えとなることでしょう。

「ほんとうに出会った者に別れはこない」という言葉は、出会いと別れを繰り返して生きていかざるを得ない人間本来のもつ寂しさへの救いでもあるような気がします。

気が付くと、校庭では木々の芽が柔らかくふくらむ準備を始めています。校門の桜の花が満開を迎える頃には、学校は別れと出会いを越えて、また、新しい季節を迎えることでしょう。

『鬨志尚 存して春の 風を見る 高浜虚子』
学校は、残る一日一日を子供たちと共に大切に過ごし、次の春へとつないでいくつもりです。

保護者・地域の皆様には一年間のご協力に心から感謝申し上げますと共に、次年度の光が丘春の風小学校へも変わらぬご支援とご協力をどうかよろしくお願いいたします。

6年生を送る会・お別れ給食会

特別活動部 橋本 翔太

3月1日(水)に行われる「6年生を送る会」に向けて、どの学年も準備・練習を進めてきました。卒業式は厳粛に行われますが、この「6年生を送る会」は、児童会が運営し、各学年が6年生のために感謝の気持ちを込めて行う子供たちの手作りの会です。

これまで、6年生は学校のリーダーとして多くの場面で先頭に立って活動してきました。1～5年、5組の子供たちが言葉や歌等を披露し、今年度、様々な場面で学校をリードした6年生に感謝とエールを伝えます。

「6年生を送る会」の後は、「お別れ給食会」を行います。たてわり班ごとに1年間お世話になった6年生と給食を一緒に食べながら、楽しい時間を過ごします。たてわり班で食べる最初で最後の給食は、和やかな雰囲気の中、楽しさと寂しさを感じる時間となります。

今回の「6年生を送る会」「お別れ給食会」を通して、6年生は、残り少なくなった小学校生活をじっくりと味わい、卒業が近づいていることを実感することと思います。

また、この会の中心となる5年生は、『いよいよ自分たちが学校の中心として活躍するのだ』という意欲を高めていく場になると思います。

それぞれの学年が、進学・進級に向けて意欲付けのできる会になることを願っています。

避難訓練の取り組み

生活指導部 笹木 望美

「お・か・し・も」という言葉を春の風小の子供たちはよく知っています。

お：押さない か：駆けない し：しゃべらない も：戻らない

これは、火事や地震で避難するときの合い言葉です。天災は、いつどこで起こるのか予想することは難しいです。そこで、本校では、防災への意識を高めるとともに、危険を予測・判断して安全に行動できる子供を育てるために、避難訓練を計画的に実施してきました。

4月に災害時の基本的な行動、避難経路の確認をしました。その後、毎月、地震や火災が起きたときの校内での避難、保護者への引き渡し、二次避難場所への避難など様々な想定を基に訓練を行いました。3月はこれまでの避難訓練のまとめとして、地震後に火災が発生するという想定で実施します。子供たちへの事前連絡はありません。子供一人一人が地震発生時に身を守る姿勢をとり、指示に従って避難経路を確認し、避難できることが目標です。

東日本大震災の際には、日頃の避難訓練により助かったという話がありました。もしもの時に、自分の身を守ることができる子供たちを育てていきます。

また、ご家庭でも、子供が一人での時間に災害が起きたらどのような行動をしたらよいのか、避難場所はどこか、どのような経路で行けばよいのかなど、具体的に話し合う機会を設けてくださいますと幸いです。

初めての社会科見学

3年担任 安居 寛和

2月3日、社会科見学に行ってきました。初めての社会科見学ということもあって、子供たちはとても楽しそうに、はりきってメモをとっていました。特に江戸東京たてももの園では、今の家との違いや古い道具を見付けようと一生懸命話を聞き、見学していました。お昼は小金井公園の芝生の上で食べましたが、とても楽しそうに過ごしていました。(カラスに弁当を狙われ・・・)

午後からは練馬区役所の最上階にある展望ロビーから外の景色を見学しました。天候に恵まれ、快晴だったので、富士山、東京ドーム、東京タワー、東京スカイツリーもはっきり見ることができました。

後日、まとめとして社会科見学新聞を作りました。子供たちは、学んできたことをしっかりまとめようと必死に頑張っていました。総合的な学習の時間で、練馬大根についてまとめた新聞に続き、2回目ということもあって、とても上手にまとめていました。

子供たちの感想から

- ・昔は、電気やガス、水道がなくて全部手作業だったので、大変だと思いました。でも、いろいろ道具を考えて使って生きていたので、すごいと思いました。
- ・古い物がたくさんあって、洗濯板、湯たんぽ、かま、自在鉤など、いろいろな道具があることが分かりました。また、いろりに火をつけてもらって、いろりの火はこんなに温かいことが分かりました。
- ・江戸東京たてももの園に行って思ったことは、昔と今の暮らしがぜんぜん違って、びっくりしました。わたしがびっくりした道具は水がめです。どうしてかという、大きさが1メートルぐらいもあったからです。わたしは、昔の暮らしをもっと調べてみたいなと思いました。



3月の行事予定

日	曜	時程	ひらば	行事予定
1	水	通常	○	6年生を送る会 お別れ給食会
2	木	通常		春小チャンピオン 委員会
3	金	通常	○	5組消費学習
4	土			
5	日			
6	月	特4	○	感謝の会（6年）
7	火	水5		
8	水	通常	○	音楽集会 安全指導
9	木	通常		縦割り班活動 クラブ
10	金	通5	○	
11	土			
12	日			
13	月	通常	○	全校朝会 5組保護者会
14	火	通常		
15	水	通常	○	児童集会
16	木	通常		
17	金	水6	○	誕生日給食
18	土			
19	日			
20	月			春分の日
21	火	水5		
22	水	通常	○	給食終
23	木	通2		修了式 卒業式予行（5・6年は4時間授業）
24	金	特4		卒業式（5・6年）
25	土			
26	日			春季休業日始
27	月			
28	火			
29	水			
30	木			
31	金			

4/5 前日準備
4/6 始業式
4/10 給食始

＜3月の生活目標＞

1年間の生活を振り返ろう

＜3月のあいさつ目標＞

「お、あ、し、す、さ」心をつなぐ合い言葉

生活指導部 生稲 宏一

今年1年を振り返って、できるようになったことを考えてみます。「こんなにできることが増えたんだ。」と気付くことと思います。「もうちょっと頑張ればできるのに」と思い浮かんだことは、1年間の「仕上げ」として取り組んでいきます。もしできるようになれば、子供たちにとって大きな自信になります。この1年で達成できたことや課題を子供たちと振り返り、進学・進級に向けて意欲を高めていきます。